

# 令和7年度 学校安全優良校推薦資料

## 推薦者名称

名古屋市教育委員会教育長 杉浦 弘昌

### 【推薦理由】

春岡小学校は、令和5年度に創立90周年を迎え、本年度93年目の歴史ある学校である。市内でも有数の繁華街があるものの、学校周辺は、閑静な街の雰囲気が残っていて落ち着いた学区である。保護者は学校教育に熱心であり、児童も学習に対して関心が高い。

本校では、「自分たちの命は自分で守る」とし、令和4年度から、地震や火災を想定した避難訓練について、元名古屋市港防災センターの職員を講師に迎え、訓練の内容を見直し、職員や児童らが、自主的、積極的に行動できるよう改善しながら、安全教育を推進している。また、命に関する学習や学区と連携した毎日の登下校指導、愛知県警察本部防犯活動専門チーム「のぞみ」による防犯教室の実施等、学校安全に対する取組に対して、優良校として推薦するものである。

ふりがな 学校(園)名	なごやしりつはるおかしょうがっこう 名古屋市立春岡小学校		
所在地	〒464-0848 名古屋市千種区春岡二丁目5番38号		
ふりがな 校(園)長名	はやかわりえ 早川理恵	電話番号	052-761-4391
メールアドレス	haruoka-e@nagoya-c.ed.jp	ファックス番号	052-761-8187

### 1 学校(園)の概要(人数及び学級数は、令和7年5月1日現在)

教職員数	21人				
学級数	14学級				
幼児児童 生徒数	300人				
管理下の 重大事故	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	死亡事故	0件	0件	0件	0件
	障害事故	0件	0件	0件	0件
過去の 表彰受賞歴	令和3・4年度	名古屋市学校保健・安全活動優良校優秀賞			
	令和5年度	名古屋市学校保健・安全活動優良校			
	令和6年度	名古屋市学校保健・安全活動優良校			

## 2 学校安全に関する特色ある取組や研究実践

本校では、地震や火災を想定した避難訓練について、令和4年度から「自分の命は自分で守る」ことができるようにすることを目標に、それまで形式的に行っていた避難訓練の内容を、より実践に役立つ訓練になるよう見直し、以後、毎年改善しながら行っている。

1年目は、教職員の避難訓練に対する考え方、意識を変えるために、元名古屋市港防災センター長の吉村隆氏を講師として招き研修を行った。子どもを守る当事者として、災害が発生した場合の子どもへの指示の出し方や身の守り方などを教わった。

2年目は、教わったことを基に、教職員が自主的に、考え、行動することが求められる避難訓練を実施し、徐々に実践できるようになってきた。

3年目は、災害はいつ発生するか分からないことから、休み時間中に地震が発生するという想定を基、職員や児童への予告をせずに避難訓練を行った。そのような状況でも職員が自主的、積極的に行動することができたことに加え、児童にも大きな変容があった。自分の命を自分で守ろうとこれまでの教わった身の守り方を実践することはもちろん、上級生は、周りの下級生にも自主的に声を掛け、安全に配慮しながら、一緒に避難行動をとることができた。毎年行っている学校評価では、学校安全に関する項目で児童のポイントが4点満点中3.8点と極めて高い結果となり、児童の意識改革と実践力の向上が明確に表れていた。予告なし訓練については、今後、負傷者を想定する等、さらに条件を難しく設定し、バージョンアップした訓練を計画中である。

## 3 学校安全に関する取組

### (1) 安全教育について

資料No.

- ・ 避難訓練（4月、9月、2月）
  - ① 火災（レッドゾーン、イエローゾーン、グリーンゾーンの判断の仕方と、それぞれのゾーンでの避難の仕方）
  - ② 地震（余震に備えた避難行動の取り方）
  - ③ 予告なし地震訓練（けが人あり、雨天時を想定した体育館への避難）  
シェイクアウト訓練参加。
- ・ 防犯訓練（6月）  
愛知県警察本部防犯活動専門チーム「のぞみ」による防犯教室を開き、不審者からの身の守り方を学ぶ。
- ・ 交通安全指導教室（6月）
  - ① 交通安全についての動画視聴や交通指導員の講話から、交通ルールや正しい自転車の乗り方についてなどの交通安全について学ぶ。
  - ② 1・2年生を対象に、歩行訓練を行い、交通ルールを守り、安全な歩行ができるよう実践的に学ぶ。
- ・ いのちの授業
  - ① 助産師を講師として招き、毎年、4年生を対象として妊娠や出産、胎児、赤ちゃんについて学び、命の大切さについて考える学習活動を実践。また、毎年5年生を対象として、男女合同で二次性徴についても学習している。

② 養護教諭が、4・5・6年生を対象として自殺予防教育を実施し、GRIPやソーシャルスキルトレーニング等を指導している。

・ 薬物乱用防止教室

毎年6年生を対象に、学校薬剤師を講師として招き「オーバードーズ」についての講話を実施し、薬の正しい使い方について学ぶ時間を設定している。また、昨年度は、PTA家庭教育セミナーでも「オーバードーズ」について取り上げ、学校薬剤師から保護者向けの講話を実施した。

(2) 安全管理について

資料No.

・ 防災計画（4月）

・ アレルギー対応委員会、医療的ケア児童対応委員会（4月）

アレルギー対応や医療的ケアが必要な児童に対して、職員間で共通理解を図り、安心・安全に学校生活を送れるよう全職員で対応。

・ 心肺蘇生・AED・エピペン講習会（6月）

学区在住の看護師を講師として招き、心肺蘇生法、AED、エピペンの使い方について、緊急時にも落ち着いて対応できるよう毎年実践的な研修を実施。

・ 安全点検

月に1回、全職員による校内の安全点検を実施。異常があれば、速やかに対応。

(3) 家庭・地域等との連携について

資料No.

・ 防災訓練（9月）

暴風警報や特別警報発生時、南海トラフ地震に関する情報等が発令されて、保護者に児童を引き取りに来てもらう場面を想定し、メールでの確認訓練を実施。

・ 登下校時の見守り活動

常時活動として、地域の街角サポーターや保護者による登下校時の見守り活動を実施。安全標識や横断歩道、カーブミラーなど修繕が必要なものがあれば、関係機関に要望を提出し補修を依頼。

また、11月には、PTA役員を中心に朝の挨拶運動とともに児童の安全な登下校のための見守りを実施。

・ 感謝の集い（2月）

日頃からお世話になっている街角サポーターや交通指導員を招き、子どもから感謝を伝える会を、毎年児童会が主催して実施。

・ 学校保健安全委員会

学校医と学校薬剤師、学区担当の保健師、PTA役員と学校職員で、学校安全と学校保健について報告・協議する会。本校の課題や、課題解決には何が必要かを考える機会となり、次年度の計画を立てる際に活用。

(4) その他特筆すべき内容

資料No.

・ WBGT監視システムを運動場と体育館に設置し、気温や湿度、熱中症指数等を職員室で一括管理することによって、児童及び職員の熱中症予防を実施。指数が「危険」を示し、アラートが出た際には、全校児童に放送で知らせ、屋外や体育館での活動を中止。また、ログは1分ごとに自動的にパソコンに保存されて、万一の事故にも対応可能である。